

哲学概論(Philosophy)

担当教員名	松川 絵里	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 人文科学・社会科学系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-1(20%) A-2(30%) B-2(20%) C-1(30%)
	JABEE基準1(1)	(a)(b)
科目の概要	「嘘をつくのはいつも悪いことか」、「現実を受け入れるべきか」といった哲学・倫理学の基本的な問題について、様々な哲学者の思想を学びながら考察する。また応用編として、PL法や内部告発など技術者が直面する倫理的な問題を取り上げ、実際の事例をもとに法律や歴史も踏まえながら分析する。	
テキスト(参考文献)	シャロン・ケイ、ポール・トムソン著『中学生からの対話する哲学教室』(玉川大学出版部) その他の資料については、適宜配布する。	
履修上の注意	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。	
科目の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学・倫理学の基本的な問題について、哲学者の思想を学ぶ。 ・技術倫理の基本的な問題とその具体的な状況を学ぶ。 ・暮らしや社会のなかの身近な問題について、哲学的に考察する力を身につける。 	
自己学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、次回扱われるテーマや問題について、テキストや配布資料を読み、疑問点を整理しておくこと。 ・授業で取り上げられた問題や事例について、テキストや配布資料を参考に各思想の可能性と限界、また複数の思想の共通点と相違点を分析し、授業で取り上げられなかった事例についても考察すること。 ・紹介された文献を読み、哲学や技術倫理の問題への理解を深めること。 	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	(1) 試験(50%)：哲学の基本的な問題と技術倫理の問題について論述試験を行い、学習到達度をはかる。 (2) レポート(30%)：授業で取り上げた哲学の基本的な問題や事例について、毎回授業の最後にレポートを提出してもらい、授業の理解度をはかる。 (3) 授業態度(20%)：学習への取り組みが真面目かどうか、討議への参加が意欲的かどうか、出欠状況と授業態度で評価する。 (1)～(3)を総合して、60%以上を合格とする。	
連絡先	e.matsu145@gmail.com	

授業の計画・内容

第1週 **哲学とはなにか？**
哲学の知と他の知はどうちがうか

第2週 **哲学・倫理学の問題 1**
美は事実か趣味か

第3週 **哲学・倫理学の問題 2**
アートの目的とは何か

第4週 **哲学・倫理学の問題 3**
嘘をつくのはいつも悪いことか

第5週 **哲学・倫理学の問題 4**
現実を受け入れるべきものか

第6週 **哲学・倫理学の問題 5**
差別とはなにか

第7週 **哲学・倫理学の問題 6**
動物には権利があるか

第8週 **レポート作成**

第9週 **哲学・倫理学の問題 7**
だれが環境のことを考えるのか

第10週 **哲学・倫理学の問題 8**
政府がなかったらどうになってしまうのか

第11週 **哲学・倫理学の問題 9**
生きる意味とはなにか

第12週 **技術倫理 1**
技術倫理とは

第13週 **技術倫理 2**
製造物責任法（PL法）を考える

第14週 **技術倫理 3**
内部告発を考える

第15週 **グループ・ディスカッション**

期末試験